



人手不足を打開し、生産性を上げる人材とは。 技術者育成とグローバル戦略にせまる!

市民の方に地場産業を知ってもらおうと北九州市立大学の学生が市内企業取材しました。
今回は、上頓野にある日建エンジニアリング株式会社を紹介します。



パイプを加熱して曲げる工程



数値シミュレーションを使ったパイプ曲げ変形予測について説明する柗井さん



配管の製作工程について説明を受ける学生たち

日建エンジニアリング株式会社の歩み

1970年	北九州市に日建設備工業有限公司を設立	2010年	新工場を建設
1990年	日建エンジニアリング株式会社に社名変更	2011年	第二工場を増設
1997年	直方市に工場を移転	2015年	第6回ものづくり日本大賞を受賞



インタビュー
岸本 敬一朗さん
(3年生)

製造部
マネージャ
寺田 勉さん

製造部
ディン カク ティエンさん

トップインタビュー

Q1 事業内容について教えてください。

製鉄所の高炉設備用配管加工、発電所等のボイラー設備用配管加工と一般製缶加工を事業の3本柱としています。元々、高炉設備用配管加工業からスタートしましたが、高炉の長寿命化に伴う需要低下に伴い、ボイラー設備用配管加工業へ主事業を移しました。

得意とする極小R曲げ加工、3次元曲げ加工の技術による製品が、今では売り上げの9割を占めています。また、材料が手元がない場合でも、依頼された加工が可能か判断するために、数値シミュレーションによるパイプ曲げ変形予測について、東京工業大学と共同で研究を行っています。



製作したボイラー設備用配管



社員に直撃

日本語で
答えてくれました!

ディンさんに仕事への想いをお聞きしました。

6年前、日建エンジニアリングに採用されて日本にきました。以前から、ものづくりに興味があり、技術力の高い日本で挑戦したいと思っていました。それまで私は、ベトナムのホーチミン技術師範大学を卒業後、1年間、日本語学校に通っていました。ベトナムで開催された日本企業の説明会に参加したときに、当社と出会いました。

来日した当初は、日本語の方言や曖昧な表現を理解するのに苦労しました。そんな中、初井専務は曖昧な言葉を使わず、はっきり指示をしてくれるので大変、助かっています。現在は寺田さんから、製造工程について教えてもらっています。今後は自分で最初の工程から納品までを管理したり、後輩の教育を任されるようになっていきたいです。経営についても勉強し、将来、祖国に帰り、国へ貢献したいです。



寺田さんにディンさんについてお聞きしました。

ディンさんが我が社に就職してから、トレーナーを務めています。お客様の注文を受けてから納品までのすべての工程を教えています。彼は日本語検定2級資格を取得し、QC活動、改善勉強会等の社外セミナーの参加にも積極的でとても優秀です。他のベトナム出身の後輩社員から大変、頼りにされていて、私もとても信頼しています。



トップインタビュー Q2 現在抱えている課題はありますか。

人材不足です。募集をかけてもなかなか人手が集まらず、仕事はあるのに、受けることができません。そのため、我が社では外国人技術者の採用を行い、現在、4人のベトナム国籍の技術者を雇用しています。我が社で技術や工場管理・会社運営を習得してもらい、海外に進出した際には、工場を任せたいと考えています。また、ロボット等や品質管理しやすい生産設備の導入、それを扱える人材の育成にも取り組んでいます。

トップインタビュー Q3 新規に開拓したい事業分野はありますか。

宇宙航空事業や防衛事業に取り組みたいです。どちらもジェットエンジンや船舶の燃料パイプ等に、我が社の高耐腐食・高寿命パイプ加工技術を活用できると考えています。技術はすでに持っているので、ライセンスを取得することが今後の目標です。

トップインタビュー Q4 若者へのメッセージをお願いします。

日本でも、もうすでに外国人と一緒に仕事をするのが当たり前になりました。海外に出て仕事をしようと決意して来た人たちですから、アグレッシブかつチャレンジングでとても優秀な人が多いです。

また、彼・彼女らは日本人とは異なる考え方、習慣、文化を持っています。このように価値観の異なる人たちと一緒に同じ目標を設定し、それを成し遂げることができる人材が今後ますます必要とされていくので、そのためにもコミュニケーション能力を磨いてください。

学生レポート 取材を終えて

日本でも数社しか持っていない技術を見学させていただき、とても貴重な体験ができました。また、専務の初井さんの「外国人と日本人は関係なく、技術の前ではみんな平等だ」という言葉にとっても感銘を受けました。
(木村 早希)

社員の方が社長や専務に気兼ねなく相談でき、また、社員の方の会社を起こしたいという目標について、専務もそれをサポートする等、社員のことを大切にされた暖かな職場だと感じました。
(岸本 敬一郎)

工場の見学が初めてだったので、とても興味深くて、面白かったです。このような機会がなければ知ることができない日建エンジニアリングさんの仕事内容や技術力を実際に拝見でき、とても貴重な経験ができました。
(米原 ひかり)

問い合わせ

インタビュー先の連絡先

- 事業者名…日建エンジニアリング株式会社
- 所在地…上頓野4727-1
- 電話…26-9000 ●FAX…26-9001
- ホームページ…<http://www.nikkencorp.com>



記事についての連絡先

- 問い合わせ…商工観光課 工業振興係 ●TEL…29-3155
- FAX…29-3156 ●メールアドレス…n-kogyo@city.nogata.fukuoka.jp



専務取締役
初井 秀斗さん

インタビューー
米原 ひかりさん
(3年生)

インタビューー
木村 早希さん
(3年生)